

子ども・子育て支援情報公表システム 「ここdeサーチ」について

○令和8年度分の報告・公表について

- ・本システムの情報は、毎年度更新することとなっている
- ・令和8年度分については、5月以降、県、中核市、各施設あて登録情報の更新に関するメールがシステムから配信されるので、施設等の登録情報の更新を行う。

○「経営情報等の報告を行っていない場合」の減算の創設

- ・こども・子育て支援法第58条第2項により経営情報等の報告が義務化された。
- ・特定教育・保育施設の設置者及び特定地域型保育事業者は、毎事業年度終了後5か月以内に当該報告を行う必要あるところ、当該取り組みを行っていない施設・事業所については基本分単価の減算を行うこととされ、令和8年7月から適用する。
- ・減算の適用は、報告期限から3か月経過し、経営情報の報告が行われていない場合や誤りのある報告が含まれていることが判明し、都道府県または市町村が指摘を行ったにもかかわらず概ね1か月以内に特段の事情なく適切に報告がなされない場合に、期限の属する日の翌日から報告がなされる日の属する月までの間、算定を行うこととする。
(災害等については考慮する場合あり。)
- ・減算額は基本単価に5%乗じた額とする。
- ・令和7年度報告分が未報告の場合も令和8年7月請求分から減算適用

3 (2) 「経営情報等の報告を行っていない場合」の減算の創設

- 子ども・子育て支援法第58条第2項により経営情報等の報告が義務化されたことに伴い、特定教育・保育施設の設置者及び特定地域型保育事業者は、毎事業年度終了後5か月以内に当該報告を行う必要があるところ、当該取組を行っていない施設・事業所については基本分単価の減算を行うこととし、令和8年7月から適用する。
- 減算の適用は、報告期限から3か月以上経過しており、
 - ・ 経営情報の報告が行われていない場合や
 - ・ 誤りのある報告が含まれていることが判明し、都道府県又は市町村が指摘を行ったにも関わらず概ね1か月以内に特段の事情なく適切な報告がなされない場合(※)に、
 期限の属する日の翌月から報告等がなされる日の属する月までの間、算定を行うこととする。なお、災害その他のやむを得ない事情により報告等ができなかった場合、市町村が認める期間は減算を適用しないものとする。
- (※) 修正の報告について、再度修正を必要とする場合、市町村が必要と認める場合、改めて指摘を行った日から概ね1か月以内の期限を設けるものとする。都道府県又は市町村が報告内容について施設・事業所に指摘し修正を依頼した場合において、再度の報告が明らかに虚偽の報告と確認できる、繰り返し指摘をしても適切な修正がされない等、法第58条第6項に該当する場合またはこれに準ずるものと市町村が認める場合には、再度指摘を行い1か月の修正期限を設けることなく、当初の指摘から概ね1か月が経過した翌月から、減算を適用することができる(「市町村が認める場合」は、報告内容や施設・事業所の状況等を勘案して判断するものとする)。
- 減算額は基本分単価に5%を乗じた額とする。

※令和7年度報告分が未報告であって報告期限から3か月以上経過している場合、令和8年7月の請求分から減算を適用する。

適用するイメージ

※ 赤色が減算を算定する月

※ 3月末が事業年度終了となる事業所のケース

	令和7年度												令和8年度											
	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設A																								
施設B																								
施設C																								

施設A: 7年度報告分 R7.10.30に報告 (10月)、8年度報告分 R8.11.15に報告 (11月)、R7年度分の減算適用 (7月)、R8年度分の減算適用 (11月)、減算なし (12月)

施設B: R7年度における報告期限 (8月)、7年度報告分 R7.10.30に報告 (10月)、8年度報告分 R9.2.10に報告 (2月)

施設C: R8年度における報告期限 (9月)、7年度報告分 R8.9.10に報告 (9月)

対象施設

幼稚園、保育所、認定こども園、家庭的保育事業所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、居宅訪問型保育事業所